



上島町消防団員 絶賛募集中！！



令和6年度全国統一防火標語

「守りたい 未来があるから 火の用心」



消防出初式の開催



消防操法大会の参加



新入団員の研修

救急講習会の受講

上島町消防団 年末警戒出発式を実施

上島町消防団は、12月26日(木)から28日(土)の年末警戒実施にあたり、初日の26日に消防庁舎で団員約120名が参加のもと年末警戒出発式を開催しました。式は、町長の激励のことばの後、消防団車両が庁舎前を一斉に出発しました。期間中、各分団は担当地域を巡回しながら、火の用心を呼びかけ、町民の安全確保に努めました。



団員・車両の出発

令和6年12月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R6累計
火災	0	0	0	0	0	0	4
救急	13	17	12	0	3	45	463

(令和6年12月31日現在)

上島町消防署 ☎77-4118
上島町消防本部 消防防災課 ☎77-3166

あなたのチカラを町の力に！
消防団員絶賛募集中！

◆消防団とは

本業を持ちながら、ボランティア精神により、地域の安全と安心を守るため活躍している非常勤特別職の地方公務員です。消火活動や風水害への対応、大規模災害や林野火災、住民への防火・防災の啓発活動などには、地域に根ざした消防団員の方が欠かせません。

◆現在の活動状況（平常時・災害時およびその他への取り組み）

上島町消防団は、4方面隊（全11分団）で編成されています。日頃は火災・災害時に備えて訓練や資機材、消火栓の点検などを実施しています。また、火災・災害発生時には現場に出動して活動をしています。

◆上島町消防団への入団方法

上島町内に居住、または勤務する18歳以上の健康な方。
※興味がある方は、近所の消防団員か消防防災課までご連絡ください。（消防防災課 ☎77-3166）

◆その他

活動手当、年報酬の支給、退職金の支給もあります。

たき火からの火災防止について

この季節は空気が乾燥し、風が強い日が多いことから、たき火からの出火に注意が必要です。上島町内でも、過去にたき火が原因で火災に至ったケースがあり、次のような山林火災が発生しています。

※たき火を行った際は、最後は水をかけて、完全消火をしてください。

【上島町の山林火災】

- ・平成7年3月 岩城 積善山 約142.0ha
- ・平成21年6月 生名 蛙石山 約5.6ha
- ・平成23年4月 生名 鉢巻山 約4.7ha

野焼きは法律で禁止されています！

○野焼きとは？

クリーンセンターなどの適法な施設以外で廃棄物（ごみ）を燃やすことを「野焼き」といいます。野焼きは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）」で原則として禁止されています。

○焼却が例外的に認められる場合（廃掃法第16条）

- 国や地方自治体が施設管理を行うために必要な場合
- 災害の予防・応急対策・復旧のために必要な場合
- 風俗習慣上・宗教上の行事を行うために必要な場合
- 農業・林業・漁業を営んでおり、やむを得ず行われる廃棄物の焼却
- たき火その他日常生活で通常行われる場合で軽微なもの

※火災と紛らわしい行為の場合は消防署まで連絡をしてください。

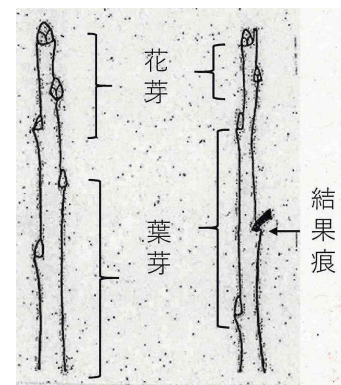


図1 柿の結果母枝

① 柿の結果習性・生育特性

柿は家庭果樹として畑や宅地の隅に植えられることが多く、樹齢が長く、放っておいても生育し続けて大木になる丈夫な果樹です。粗放栽培でもある程度の実はなりますが、隔年結果や高いところに実が付く高木となることが欠点です。低い位置に毎年、安定して実を付けるには剪定（せんてい）が重要な作業になります。今回は、柿の剪定について解説します。



② 剪定の手順

剪定時期は2月～3月上旬頃に行います。樹形の基本形は3本の枝（主枝）を立てて横枝を配置する開心自然形が樹高を低く保て、受光体制がとれる枝配置になるような樹形に整えます（図2参照）。①木の全体を見て、枝が重ならない方向に立枝を3本程度選びそこから横枝を配置します。樹高が高い木は2～3年かけて樹高を切り下げるとよいでしょう。②柿は光要求量（ひかりようきゅうりょう）が高い果樹のため各枝に日が当たりやすくするため主枝や

柿の結果習性は、前年枝から春に発生する新芽に花が付く結果母枝（けつかぼし）型の果樹で、枝の先端の3芽程度から出る枝にしか花が付きません（図1参照）。そのため枝先を切ってしまうと花がつかないので気を付けましょう。また、柿は日当たりを好み、日光が当たる枝からは芽がよく出ますが、日陰になる枝は衰弱してすぐに枯れてしまいます。枝の成長は先端から出る芽ほど強い頂部優勢（ちようぶゆうせい）性が強いので、幹が直立して樹高が高くなる性質があります。そのため、放任樹では枝が外へ伸びやすく下垂しては日陰になり内側に枝が少ない樹形となります。

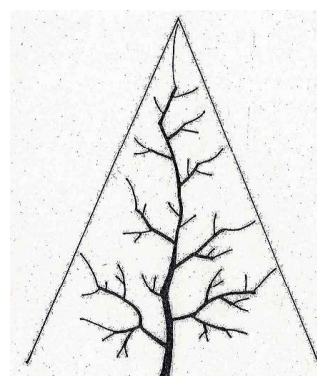


図3 主枝、側枝の配置

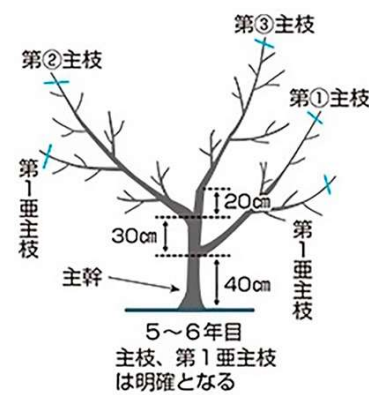


図2 開心自然形樹形

亜主枝の先端を頂点にして二等辺三角形になるように枝の配置を心掛けましょう（図3参照）。③実をつける側枝は充実した斜め上向き（さか）の枝を選び、先端は切らずにまばらに配置し、周辺の枝は基部から間引きします。特に外周の下垂枝を切り、水平からやや上向き枝の側枝に更新を行いましょう（図4参照）。

③ 柿の剪定の注意点

品種により枝の出る角度が異なります。甘柿は枝角度が広く、渋柿は枝角度が狭く立気味に生育します。太い枝を切る際には柿は切り口から枯れ込みやすいので切り口にはトッジンMペーストなどの癒合剤（ゆごうざい）を塗布するとよいでしょう。

安定した着果を得るためには充実した結果母枝の確保が重要で、摘果や枝先を切り返して芽だけ出させる予備枝を作るなどの着果調整が必要です。既に大木になっている木は徐々に樹高を下げて幹に光が当たれば新芽が出やすくなるので数年かけて樹形を作り直すといでしょう。

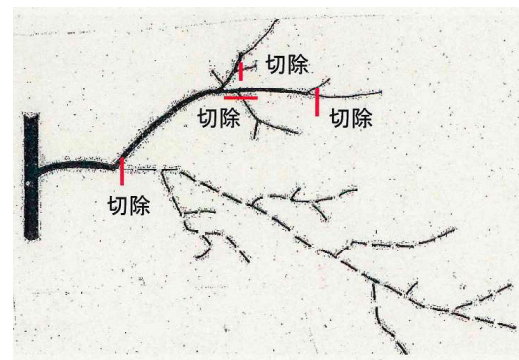


図4 結果母枝の残し方